

## 福島県沖のイセエビ

令和3年11月12日  
福島県水産海洋研究センター



図1 水揚げされたイセエビ

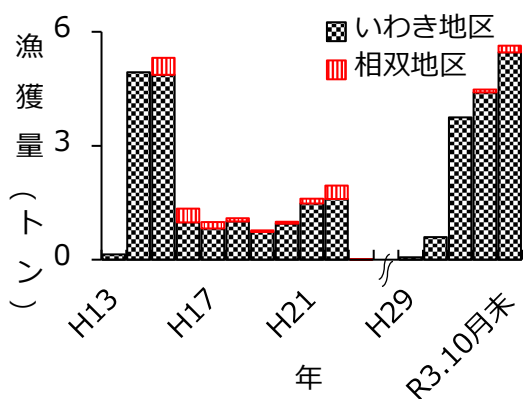


図2 イセエビ漁獲量の推移(R3年は速報値)

イセエビ (*Panulirus japonicus*) はイセエビ科の大型のエビで、南日本の太平洋側においては最も主要な甲殻類の一種<sup>1)</sup>です。福島県でもイセエビは漁獲され、平成 13~22 年は 0.1~5.3 トン、平成 30~令和 2 年は 0.6~4.5 トンで推移しました (図 2)。また、令和 3 年は 10 月末現在で 5.6 トンと震災後最大の漁獲量となっています (速報値)。

過去、福島県においては抱卵した雌個体<sup>2)</sup>や全長 5cm 未満の小型個体が捕獲<sup>3)</sup>されていますが、イセエビの幼生 (フィロゾーマ幼生) は一年弱の長い浮遊期を持ち<sup>4)</sup>、福島県沖で生まれた幼生が福島県での漁獲量増加に寄与しているかは不明です。福島県でのイセエビの漁獲量の増加には、海水温の変動が関係している可能性があります、それを裏付ける証拠は現段階ではありません。

### 【引用文献】

- 1) Harada E.(1957) Ecological observation on the Japanese spiny lobster *Panulirus japonicus*(von Siebold), in its larval and adult life. Publications of the seto marine biological laboratory, 6: 99-122
- 2) 渡邊昌人、佐藤美智男 (2001) 福島県南海域における抱卵イセエビの捕獲 (短報) 福島県水産試験場研究報告第 10 号 p.73
- 3) 渡邊昌人、佐藤美智男 (2000) 福島県南海域におけるイセエビ (稚エビ) の漁獲記録 (短報) 福島県水産試験場研究報告第 9 号 p.99
- 4) Matsuda H., Yamakawa T.(2000) The complete development and morphological changes of larval *Panulirus longipes* (Decapoda, Palinuridae) under laboratory conditions. Fisheries Science, 66:278-293